

公立大学法人九州歯科大学

I 全体評価

公立大学法人九州歯科大学は、理事長のリーダーシップの下、法人化のメリットを活かした取組を積極的に進め、教育研究等の充実及び主体的・自律的な大学運営に努めてきたところである。

平成30年度から第3期中期目標期間（平成30年4月1日から令和6年3月31日まで）に入り、新たなスタートを切った九州歯科大学は、設立団体である福岡県が定めた中期目標において、地（知）の拠点として、大学の個性・強みを生かした教育研究を行い、地域社会の発展に貢献できる優秀な人材の育成をはじめとした取組を着実に実施することを最も重要な使命としている。

令和元年度の評価にあたっては、第2期中期目標期間内に取り組んだ諸改革や魅力ある大学づくりを一層進めるとともに、第3期中期計画の達成に向け、年度計画を着実に実施しているかという視点から、当該年度の業務実績評価を実施した。

評価の結果、中期目標項目6項目全て（教育、研究、地域貢献及び国際交流、業務運営の改善及び効率化、財務内容の改善、自己点検・評価及び情報の提供）について「順調に進んでいる」と評定した。

また、九州歯科大学では、医科歯科連携や多職種連携を見据えた特色ある学生教育や、地域歯科医療従事者に対するリカレント教育を行うとともに、地域の中核病院等との連携を強化し、包括的な地域歯科保健医療体制の構築を推進している。

以上のことを踏まえ、公立大学法人九州歯科大学の令和元年度の業務実績については、中期目標・中期計画の達成に向けて、全体としては順調に進捗していると認められる。

歯科医療の高度化・専門化や高齢化社会の進展等、多様化するニーズへの適切な対応が求められる中、公立大学としての役割を踏まえ、教育研究はもとより地域貢献の充実に向けた取組を一層推進するとともに、内部質保証体制の充実による業務改善に取り組み、社会から高く評価される大学となることを期待する。

II 項目別評価（中期目標項目別評価）

1 教育

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

教育については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- (1) 地域の歯科保健医療に貢献する実践的な歯科医師及び歯科衛生士の育成
 - ・アウトカム基盤型教育を見据えて、歯科医療人としての意識の醸成やチーム医療の観点から学生アンケートを実施し、シラバスの改訂を図るなど、初年次教育の充実に取り組んでいる。

- ・モデル・コア・カリキュラムの改訂を踏まえ、授業科目の充実や総合医科病院での臨床実習の展開など、医科歯科連携教育を加速させる環境を整備している。
 - ・臨床実習前に必要な能力を評価するステューデント・デンティスト認定制度のトライアルの実施体制を整備するとともに、デジタル歯科シミュレータを活用した臨床技能評価に向けた検証を行っている。
 - ・組織的な教育改善に取り組み、令和元年度の歯科医師国家試験合格率（対出願者数）が全国29大学中3位と高水準であったことや、歯科衛生士国家試験合格率が100%であったことを評価する。
- (2) 特色ある大学院教育による優れた歯科医療人の育成
- ・自ら課題を解決することができる歯科医療人を育成するため、地域の実情や学生のニーズを見据えて、3つのポリシー（アドミッションポリシー、カリキュラムポリシー、ディプロマポリシー）の見直しに取り組んでいる。
- (3) 教職員の教育力向上
- ・図書館にラーニング・コモンズを開設するとともに、学生が主体的に学ぶための教育方法の検討を行うなど、教育活動の改善に努めている。
- (4) 意欲のある優秀な人材の確保
- ・模擬講義等の高大連携やオープンキャンパス、高校訪問、施設見学会等の入試広報活動の実施など、優れた資質や高い意欲を持った人材の確保に取り組んでいる。
- (5) 学生の学修及び生活支援
- ・教職員が連携して学生相談等に対応するための体制を確保するとともに、保護者面談会を充実させるなど、きめ細かな学生支援を行っている。
- (6) キャリア支援
- ・口腔保健学科において、希望職場への就職活動を支援する体制を充実させるとともに、民間企業や総合病院等への就職を開拓し、引き続き就職率100%を達成した。

2 研究

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

研究については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・地域の中核病院との医科歯科連携協定等を活かして、地域包括ケアシステムにおける医科歯科連携や多職種連携を目指した歯科保健医療体制の構築に資する研究を展開している。
- ・科学研究費補助金の応募数、獲得数ともに目標を上回るなど、外部研究資金獲得を積極的に進めている。
- ・歯周病検査を簡便かつ迅速に行うための研究を推進するとともに、地域の健診機関と包括的連携協定を締結し、地域医療調査研究センターの立ち上げ準備を行うなど、成人歯周病検診を幅広く展開するための体制整備を進め、寄附講座の設置に繋げた。

3 地域貢献及び国際交流

評価

4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

地域貢献及び国際交流については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」において、市内3大学が連携し、単位互換による実践的教育を実施するとともに、附属病院を題材にユニバーサルデザインによる環境づくりに取り組むなど、高齢者のQOL支援を志向する人材の育成を推進した。
- ・地域の中核病院や社会福祉施設等との連携強化により、多職種連携を一層充実させ医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制の充実を加速化するとともに、「働く世代の歯周病検査普及事業」を実施した。
- ・学術交流協定に基づき、短期留学生の受入れや、海外学生短期派遣プログラムを正規の選択科目として実施するなど、海外大学との交流を推進している。
- ・「Asia-Pacific Conference in Fukuoka 2019」を開催し、台湾及び東南アジアの歯学教育及び歯科保健活動に関する学術交流を展開するとともに、交流協定締結校から教員を受け入れ、地域包括歯科医療センターにおいて短期研修を実施した。

4 業務運営の改善及び効率化

評価

4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

業務運営の改善及び効率化については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・IR室で学生の履修データを解析し、国家試験に向けて組織的に活用する体制を改善するとともに、学長裁量経費を確保するなど、戦略的な大学運営に努めている。
- ・附属病院の総合診療科の組織再編を行い、臨床教育を充実させるとともに、電子カルテシステムを活用し、包括歯科診療に関連する教育資料や口腔疾患の視覚素材のアーカイブ化を実施した。

5 財務内容の改善

評価

4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。

財務内容の改善については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・外部研究資金に加え、教育等に関する外部資金の獲得により、目標を上回る収入実績をあげている。
- ・ESCO事業の導入により光熱水費を低減させるなど、経費節減に取り組んでいる。

6 自己点検・評価及び情報の提供

評価	4：中期目標・中期計画の達成に向けて順調に進んでいる。
----	-----------------------------

自己点検・評価及び情報の提供については、年度計画を着実に実施し、目標を達成していることから、順調に進捗していると判断し、4と評価する。

評価する点は、以下に示すとおり。

- ・大学内に内部質保証委員会を設置し、内部質保証に関連する各種規程等を整備するとともに、教育活動を中心とした自己点検・評価の組織的な対応に努めているが、今後の本格稼働に向けて、外部の意見を取り入れるなど、実効性のある組織運営に期待する。
- ・大学ホームページ等で教育研究情報を適切に公開している。